

会報

2017.07.15

第61号

戦没船を記録する会

目次

第24年度活動方針(案)・定期総会開催告示	… 1
第20~23年度 活動報告(案)	… 2
第20~23年度 収支決算報告・監査報告(案)	… 3
会則改正(案)・役員改選・役員訃報	… 4

〒343-0025 越谷市大沢4-15-1-4-207

電話・FAX 048-965-6820

郵便振替 00160-6-719515

URL <http://www.ric.hi-ho.ne.jp/senbotusen/>

定期総会に向けて

本会は、2013年に第20年度の総会を開催して以降、今日まで総会を開催することができませんでした。これはひとえに、事務局の努力不足によるところであり、ここに皆様に深くお詫び申し上げます。次第です。

第24年度総会を開催し、新たな役員と方針のもと出直しのスタートを図る所存です。

1. 第24年度(2017年度)活動方針(案)

会員の減少・高齢化・資金の枯渇、保有資料の老朽化が進み、活動力が低下する一方で、各地での展示会の要請が毎年一定程度来ている。

また集団的自衛権の行使を可能とする戦争法案が成立し、船員予備自衛官制度が発足するなど、海の平和が脅かされ、船員が戦火に脅かされかねない状況を憂慮する声が年々高まっている。こうした状況に対処するため以下の活動を行う。

1. 会員名簿の整理

電話や郵便などにより、会員の生死を含めた現状を把握し、会員名簿の整理を行う。

2. 若手会員の拡大

会員の減少・高齢化に伴う活動力低下に対処するため、若手会員の勧誘・募集を行う。

3. 保有資料の分類整理、リストの作成

会の存続の有無にかかわらず、保有資料のDVD化や資料の分類整理、リストの作成を行う。

4. 展示用資料の整備・補充

各地の平和展などへの参加を継続するため老朽化した資料を整備・補充する。そのた

め海員組合の協力を得るべく協議する。

5. 各地の平和展・戦争展への参加

従来参加してきた海員組合全国大会・東京海洋大学学園祭・埼玉・横浜・愛知・焼津など各地の展示会への参加を継続する。三重への参加も検討する。

6. 問合せへの対応、ホームページの整備

引き続き問い合わせへの対応を事務局と会員が協力して行う。

ホームページ整備のため協力者を募る。

7. 会の在り方の検討

今後の「組織の在り方」「会の運営方法」について、会の新形態への移行・財政問題などを含め、全会員の意見を求め検討する。

以上

第24年度定期総会開催告示

戦没船を記録する会々長 新関 昌利
第24年度定期総会を下記により開催致します。

記

日時 2017年8月2日(水) 14時～

場所 東京 生涯学習センター・ぼるーん(新橋)
新橋烏森口・ニュー新橋ビル南側、徒歩3分
桜田公園(旧小学校跡地)内
電話 03-3431-1606

- 議題
- 1、第24年度活動方針(案)
 - 2、第20～23年度活動報告(案)
 - 3、第20～23年度決算報告(案)
 - 4、会則改正(案)
 - 5、役員改選

2. 戦没船を記録する会活動報告(案)

2013年度～2016年度

	日付	活動項目	活動内容・場所等	種類
2013年 (20年度)	4月25日	理事会	勤労者福祉会館10名	
	5月15日	会報60号発行	103部発送	
	5月31日～2日	平和展のための戦争展 in 横浜	横浜市	展示
	6月1日～2日	東京海洋大学学園祭	第53回海王祭	展示
	6月	焼津における平和のための戦争展	焼津市ふれあいホール	展示
	7月26日～28日	平和のための埼玉の戦争展	さいたま市	展示
	11月	北海道新聞、問合せ第22戦隊(黒潮部隊)と釧路基地		問合せ
	11月6日～8日	海上美術展J S U大会	長崎	展示
	11月	長崎新聞、長崎県の徴用漁船の実態と体験者		取材
	12月	遺族からの問合せ	松仁丸の遭難記録	問合せ
2014年 (21年度)	6月	横田、さいべりあ丸(日本海汽船)関連		問合せ
	6月6日～7日	東京海洋大学学園祭	第54回海王祭	展示
	6月1日	平和展のための戦争展 in 横浜	横浜市	展示
	6月1日	焼津における平和のための戦争展	焼津市ふれあいホール	展示
	6月23日	理事会・総会港区立生涯学習センター		
	8月2日～4日	平和のための埼玉の戦争展	さいたま市	展示
	8月	杉田・第3一丸 問合せ		問合せ
	11月4日～7日	海上美術展J S U大会	東京	展示
1月	宮坂・崎戸丸 問合せ		問合せ	
2015年 (22年度)	5月	平和展のための戦争展 in 横浜	横浜市	展示
	6月7日～8日	東京海洋大学学園祭	第55回海王祭	展示
	6月	焼津における平和のための戦争展	焼津市ふれあいホール	展示
	7月8日～19日	ピース愛知	名古屋市	展示
	8月1日～3日	平和のための埼玉の戦争展	さいたま市	展示
	8月	神奈川新聞、神奈川県内の徴用魚船・船員の数量記録・証言		取材
	8月	文化放送、福井謙二グッモニ、本会紹介、朝鮮戦没船員の数、戦争の悲惨さ		取材
	8月	戦没船員の消息(八王子市)さいべりあ丸乗組員の生死、高橋		問合せ
11月	淡路山丸、戦没経緯・生存者の証言	共同通信	問合せ	
2016年 (23年度)	6月4日～5日	東京海洋大学学園祭	第56回海王祭	展示
	6月	平和展のための戦争展 in 横浜	横浜市	展示
	7月	焼津における平和のための戦争展	焼津市ふれあいホール	展示
	10月13日	資料整理・調査	J S S。(栗原・本望)	資料整理
	7月5日～15日	ピース愛知	名古屋市	展示
	7月30日～1日	平和のための埼玉の戦争展	さいたま市	展示
	11月8日～11日	海上美術展J S U大会	東京	展示
	12月	共同通信	比島慰霊訪問に関して	問合せ
	2月13日	理事会	I S O八重洲ビル 11名	
	2月24日	資料整理・調査	海員福祉センター	資料整理
2017年	5月26日～28日	東京海洋大学学園祭	海王祭	展示
	6月2日～4日	平和展のための戦争展 in 横浜	横浜市	展示
	6月29日	事務局会議・生涯学習センター	総会準備・会報発行、4名	

3. 収支決算報告(案) 2013年度～2016年度

単位 円


科目	2013年度 (20年度)	2014年度 (21年度)	2015年度 (22年度)	2016年度 (23年度)
前期繰越金	176,828	207,917	145,339	51,646
カンパ収入	172,000	150,000	25,000	242,348
事業収入	-	-	-	-
雑収入	10,000	10,000	-	-
収入合計	358,828	367,917	170,339	293,994
通信費	52,462	33,592	30,379	32,535
会議費	2,660	62,880	-	17,800
印刷費	10,148	5,302	14,678	2,696
文具消耗品費	3,021	8,479	2,128	8,197
事業費	35,320	96,692	54,478	116,657
旅費交通費	24,600	3,300	5,680	93,116
雑費	22,700	12,333	11,350	8,659
支出合計	150,911	222,578	118,693	279,660
次年度繰越金	207,917	145,339	51,646	14,334
繰越金内訳				
現金	69,787	58,941	46,782	9,480
振替貯金	124,805	79,545	4,545	3,075
郵便貯金	13,325	6,853	319	1,779
繰越金合計	207,917	145,339	51,646	14,334

(備考)


- 1) 旅費交通費は財政事情により、1人につき年間5,000円未満は支給しないこととしている。
- 2) カンパ振込用紙は、2015年度以降配布していない。
- 3) 2016年は、東京海洋大学の学園祭出展の際、展示資料の老朽化や破損が見られたので、一部有志に臨時にカンパを募り補修し必要品を補充した。

2017年7月14日

監事

河内山 典隆 

監事

柿山 朗 

4. 会則改正 (案)

第5条 (会員) を改正し、会員は年会費を3000円納入するよう改正することを提案する。

理由 会の資金が底をつきさしあたりの出展にも影響するので、会費制を復活させ最小限の財政基盤を確立したい。そのため下記の通り改正することを提案する。

現 行	改正案
第5条 (会員) この会の目的に賛同する者は会員とし、会の事業に協力するものとする。会員はこの会の会議、会の事業に参加し、会の所有する資料などを利用することができる。	第5条 (会員) この会の目的に賛同する者を会員とする。年会費を3000円とする。会員は会の事業に協力するものとし、この会の会議、会の事業に参加できる。また会の所有する資料などを利用することができる。

5. 役員改選

定員は20名以内で任期は2年です、今総会で役員を改選することになります。立候補される方は事務局にお申し出ください。

総会では理事と監事を選出し、総会中に理事会を開いて新理事の中から会長・副会長を互選します。

現在の役員 (2014年4月現在)	
会 長	新関 昌利 (郷土史研究家)
副会長	小林 三郎 (海の平和問題懇談会世話人代表)
同	中島 洋 (太平洋学会理事長) (故人)
同	吉田 敏長 (元海員組合)
理 事	上村 徹 (元船舶部員協会会長)
同	篠原 国雄 (戦没船を記録する会・前事務局長)
同	竹中 正陽 (内航船員)
同	豊田 健造 (船員OB) (故人)
同	山口 喜春 (船員OB)
事務局長	栗原 三郎 (船員OB)
監 事	柿山 朗 (伊勢三河湾水先区水先人会パイロット)
同	河内山典隆 (海事ジャーナリスト)

訃 報	
2013年以降本会役員の方で、下記の方がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。	
副会長	中島 洋 2016年11月29日逝去
理 事	豊田 健造 2014年 8月 5日逝去

編集後記

○ 4年間にわたり、会報は出せず、総会は開けないままに推移してしまい、大変申し訳なく思います。ただ、この4年間各地の戦争展への出展を継続し、展示資料が老朽化したものは臨時にカンパを募り作り直しました。出展先も広げるなど、最小限の努力をしてみました。また、課題であった保有資料の整理・調査に着手し、リスト作成の準備を開始しております。本年中には具体的な進展がみられると思います。ホームページは修正が遅れておりますが、これも近日中に実行の予定です。

事務局としては、最低限の活動を維持継続しておりますので、皆様のご理解を賜りたいと存じます。

○ 今、戦争体験を持つ船員は減少の一途をたどり、体験を語り継ぐ後継者は減少の一途です。新たな後継者となっただけの人の参加を促進し、資料の説明ができるよう資料内容の整備が求められます。諸先輩が収集し残された貴重な資料を守り生かしていくことが、これからの本会の大きな役割ではないでしょうか。
(栗)